

子供の不安をやわらげるためにできること

様々な支援が必要な子供へ ④・・・

習志野市総合教育センター

学校再開後の様々な変化に不安を抱える保護者の皆様へ・・・

学校生活をする上で支援が必要な子供についての話の第4回です。家庭での支援や学校に個別の支援をお願いする時のヒントにしてください。

★「人との関わりが苦手な子供」への支援のヒント

- ・人との関わりの中でうまくいったことやうまくいかなかったことを振り返らせ、うまくいったことを褒め、うまくいかなかったことは、どうすればよかったか考えさせる。
- ・人との関わりを楽しめる簡単なゲームをする。
- ・クラスの友達に、先生を通してその子の心根の良さや、共同学習をするときの声掛けの仕方など具体的な支援方法を伝えてもらう。



★「集団での活動が苦手な子供」への支援のヒント

- ・その子供が理解しやすい方法（具体的な指示、写真や絵）で活動のやり方を伝える。
- ・ルールが簡単、その子供のための特別ルールを織り込んだゲームなどで、みんなで協力して楽しむ体験をさせ、仲間意識を育てる。

★「会話がつながらない子供」への支援のヒント

- ・一度におこなう質問は1つにするなど、その子供が答えやすくなるような工夫をする。
- ・その子供の関心のある話題を意図的に設定し、楽しい会話ができる機会を増やす。
- ・話の途中で会話や説明に詰まる様子が見られたら、「つまり、〇〇ということかな？」と簡単にまとめ、子供の思考の整理を促した後、さりげなく表現方法の手本を示す。

★「特定のことにこだわりがある子供」への支援のヒント

- ・予定表に急な日程変更を書き込めるようにして、変更を受け入れることが出来たらそれを褒める。
- ・あらかじめ「時間が延びます」「変更の可能性ががあります」等を伝える。
- ・ゲームなどの遊びを通して「勝ち負け」「ルール」「みんなもやりたい」などを学ばせる。

★「片付け・整理整頓が苦手な子供」への支援のヒント

- ・教科書や文房具など教科ごとの透明な整理バッグを用意する。
- ・筆箱にいれるものを必要最小限にし、名前や目印をつける。
- ・配布されたプリントを入れるクリアファイルなどを用意し、そのファイルごと保護者や先生で受け渡しをする。

クラスでできる支援ヒント集～通常の学級での配慮ある指導を目指して～ 山形県教育庁義務教育課より抜粋・要約

お子様の心の変化や登校渋り等でお困りの時は、総合教育センター教育相談を御利用ください。

総合教育センター 教育相談(047-475-8341) 青少年テレホン相談(047-475-7867)